（別紙様式１）　　受付 No.

令和８年度　遺伝子病制御研究所　一般共同研究申請書（5 ページ以内で作成）

北海道大学遺伝子病制御研究所長殿

令和　　年　　月　　日

所　属　機　関		
所　属　部　局		
申込者（代表者）	職　名	
	氏　名	
	ふりがな	
連絡先	住　所	〒
	電　話	
	F A X	
	E-MAIL	

研究プロジェクト 及び 主な受入教員名

※　1.～12.のうち、該当する記号を〇で囲ってください。複数選択可

1. 感染癌関連因子を利用した腫瘍発生メカニズムの解析：近藤亨（幹細胞生物学分野）
2. 「がん」及び「移植」の免疫制御に関する研究：清野研一郎（免疫生物分野）
3. 感染がんの発症機構解明と治療薬探索：園下将大（がん制御学分野）
4. 感染、癌、炎症に関わる自然免疫応答の解析：高岡晃教（分子生体防御分野）
5. 感染癌に関わる因子群の構造生物学的解析：野田展生（生命分子機構分野）
6. 感染癌とその関連現象に関わる染色体ゲノム構造の解明：野間健一（ゲノム医生物学分野）
7. ゲートウェイ反射とIL-6アンプの感染癌、感染症、炎症性疾患誘導への役割：村上正晃（分子神経免疫学分野）
8. 感染癌を含む癌化に関わる細胞極性関連因子の機能解析：茂木文夫（発生生理学分野）
9. 肝炎ウイルスによる感染癌発症機序の解析：森石恆司（肝炎ウイルス学）
10. ピロリ菌感染に起因する胃癌発症機序の解析：紙谷尚子（感染腫瘍学分野）
11. 感染癌を引き起こす感染細胞の運命制御機構の解析：岡崎朋彦（分子細胞生物研究室）
12. HPV陽性感染癌とCOVID-19のマウスモデルの作製および診断用抗体の解析：吉松組子（附属動物実験施設）

研究課題名		新規・継続の別
		新規・継続
実施予定日	令和　　年　　月　　日　～　令和　　年　　月　　日	

共同研究を行いたい遺伝子病制御研究所の教員名（受入教員）

分 野 名：

氏　　名：

担当課題：

	所属・部局	職名	若手研究者 ※35 歳以下は〇	若手研究者 ※40 歳未満は〇	氏名 e-mail
分担者					e-mail:
					e-mail:
					e-mail:
					e-mail:
					e-mail:
					e-mail:

	出張者名	泊　数	旅費予定額 （以下の注をご参照の上、往復航空券・宿泊費・日当・空港までの交通費の合計額を入力下さい）
旅行日程			円（出発空港：　　）
			円（出発空港：　　）
			円（出発空港：　　）
			円（出発空港：　　）
			円（出発空港：　　）

注：

- 旅費は「国立大学法人北海道大学旅費規則」及び「国立大学法人北海道大学旅費規程」により計算し、予算の範囲内で支給します。
- 航空券の運賃は変更不可便の利用に極力務めるものとする。なお，座席クラスのランクアップ（例、ANA：プレミアムクラス、JAL：クラス J を利用）された際の差額は支給しない。早く予定を組み、できるだけ安い変更不可便を利用する様ご協力下さい。
- 宿泊料は「国立大学法人北海道大学旅費規則」により **1 泊当たり国内から来所する場合は原則として 12,000 円まで、海外から来所する場合は原則として 13,500 円まで**支給致します。差額が生じた場合の超過料金はご自身でご負担頂くことになりますので、ご了承ください。
- 日当は **1 日につき国内から来所する場合は 2,200 円、海外から来所する場合は 4,500 円**支給致します。
- **若手研究者の年齢は令和 8 年 4 月 1 日時点とします。**

必要とする経費の内訳（円）１～2

1.　旅費合計額	円（旅費予定額の合計。**40** 万円を限度とする）
2.　消耗品費等	円（**5** 万円を限度とする）

【消耗品費】
1.　納品先は遺伝子病制御研究所に限る。
2.　以下①～②は購入不可。
　①備品（10 万円以下であっても長期間にわたり繰り返し使用できるもの
　　（例：プリンターなど））。
　②事務用品（通常の事務用品のほかトナーなども含む）。

【印刷製本費】
1.　謝辞に遺伝子病制御研究所のサポートを受けた旨を明記したものに限り，印刷代・投稿料も可。
2.　年度内に納品、遺伝子病制御研究所に請求可能なものとする。

【動物搬入出費】
当該共同利用・共同研究に係る動物を遺伝子病制御研究所に搬入出するにあたり生じる費用とする。

総合計	円（ **1** ～ **2** の合計）

研究の目的

研究計画（遺伝子組み換え実験・動物実験の有無）

本研究所との共同研究の必要性

期待される効果

継続して申請する研究課題の場合は、これまでの研究成果の概要を記載 ※Acknowledgment への記載がある論文には*印、共著論文には＃印を付ける
申請者の所属長　　職名・氏名 （押印不要）